

## 商店街と大学の連携による協働体制構

### 【事業の目的】

現代の商店街が直面している、商店街の求心力低下やライフスタイルの変化などに対し、商店街への課題解決のノウハウ提供は十分ではありません。一方、これらの課題に対する解決の糸口として、大学生の発想力や機動力に対する地域の期待は大きいと考えられます。

商店街と大学の連携による協働体制構築事業では、商店街活動を促進し、社会課題を解決するノウハウを提供するために、商店街における地域内の大学との協働体制づくりや、多様な主体との新たな連携の在り方についてのモデル構築を行います。



### 【事業概要】

#### ① 商店街での協働体制づくり、多様な主体との連携

商店街と大学の連携を主として、協議会やネットワーク等、商店街における多様な主体との協働体制を実際に構築します。

#### ② 商店街活性化事業の提案

多様な主体との連携をする中で、空き店舗を活用した子育て支援や商店街ブランドづくり、リーダー育成など、新たな商店街活性化のための事業を提案、事業化します。

#### ③ 商店街における連携の課題抽出と解決策の提示

委託先の大学が、事業成果として、新たな連携体制のあり方に関する課題とその解決策を実際に検証します。

西川口駅西口地区の実態(2009)



### 【実施概要】

実施大学は商店街と連携し、以下のテーマについての事業を実施いたしました。

実施大学	商店街	テーマ
東北学院大学	一関銀座会、大町民区	地域資源を磨き育てる一関市大町商店街形成
早稲田大学	西川口西口駅前中央通り会、他7商店街	「コ・ラボ西川口」を活用した大学・商店会・NPOの協働によるユニバーサル商店街の構築
長岡造形大学	本町通商店会	子供やお年寄りに配慮した川口町東川口商店街の活性化事業
大阪商業大学	瓢箪山中央商店街振興組合	地域のネットワークを活用した地域一体型情報発信事業



## 事業事例レポート 研修事例とその成果について、例をご紹介します。

### 早稲田大学 西川口西口駅前中央通り会、他7商店街

#### 商店街について

西川口駅西地区の商店街は、かつて違法風俗店が200店以上も軒を連ねていた繁華街・歓楽街でしたが、平成16年以後、県警の一斉摘発で姿を消しました。しかし、地域のイメージ向上は難しく、さらに空き店舗・空きフロアが200以上放置されたままになっていました。そこで、商店会組織の垣根を越えて若手中心の有志経営者層がつながり、大学及びNPOと連携して事業推進を進めています。

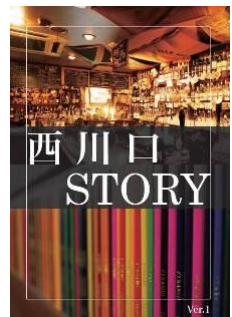
今回の実施事業では、「コ・ラボ西川口」を活用し、ユニバーサル商店街(外国人、女性、元気な高齢者、再チャレンジする若者、障害者にやさしい商店街)を起点として、志のある人材を発掘してゆくと同時に、活性化のプラットフォームを形成し、まちづくりの体制とビジョン再構築への機運をつくります。

#### コ・ラボ西川口とは…

早稲田大学と地域住民、企業、行政等との協働によって運営される、まちづくり社会実験拠点。2009年9月開設。大学と地域、企業、行政が協働して、地域に密着したアクションリサーチ、提案型の調査研究、多様な主体による創造都市を目指した新しいまちづくりの社会実験を行っています。

#### 実施内容

- ・誰でもわかりやすいメニュー表づくり  
⇒川口には外国籍の住民が多く、また多国籍料理のお店が多いため、どのお店についても誰でも入り易くするためにメニュー表を改善。
- ・ブログ「西川口見てある記」  
⇒西川口の商店街の魅力を学生目線で発信。西川口らしさとは何か、足りないものは何かを、若い感性で提案。
- ・まちづくり体制の勉強会  
⇒商店街事業協同組合、まちづくり合同会社、地域密着型NPO等の事例調査をし、商店街経営者等と勉強会を開催。その後、西川口まちづくり合同会社を設立。  
(他、「西川口ストーリー」の作成等、計8事業実施)



「西川口ストーリー」の表紙

#### 事業成果

- ・商店街の垣根を超えた取り組みにより、若手経営者の今後の事業継続への連帯感や、西川口まちづくり合同会社・NPO・大学との連携が強固になりました。
- ・コラボ茶会や離島キッチン(海のない埼玉の地域の食材と、島根県隠岐郡海士町をはじめとする4つの島の海産物を使った料理)により商店街の新たなイメージ作りと、他の地域と連携した活性化への可能性が高まりました。
- ・大学生目線の「西川口見てある記」により、「ぼったら(もんじゃ焼きのとろみを増した川口名物)」などの独自の魅力を発信することができました。高齢者と女性が手に取りやすい、地域資源を活用したお弁当を開発しました。
- ・「西川口ストーリー」の作成により、街づくりのイメージを共有すると共に、新しい西川口独自のライフスタイルの構築、発信への期待が高まりました。